

令和3年度
事業実績報告書

社会福祉法人 嘉手納町社会福祉協議会

目次

I. 法人運営部門

1. 会務の運営並びに連絡調整

- (1) 理事会……………2
- (2) 評議員会
- (3) 評議員選任・解任委員会
- (4) 法人監事監査
- (5) 町補助金交付団体監査

2. 役職員研修

- (1) 各種研修会への派遣……………3
- (2) 職員研修

3. 会員制度の強化と自主財源の確保……………4

- (1) 社協会費実績
- (2) 寄付金実績
- (3) 物品寄贈受付
- (4) 新型コロナによる社協活動の休止

4. 総合福祉センターの運営管理……………5

5. 相談援助実習生の受入れ……………5

II. 地域福祉活動推進部門

1. 福祉でまちづくり機能

- (1) 各種社会福祉関係諸団体支援事業……………4
- (2) 福祉団体合同新年会
- (3) 福祉団体連絡会議
- (4) 生きがいデイサービス交流会……………5
- (5) 心配ごと相談所の運営……………5
- (6) 広報啓発活動……………6
 - ・ ともも日フォトコンテスト、2022 しあわせ広がるフォトカレンダー事業
- (7) 赤い羽根共同募金運動……………6
- (8) 歳末たすけあい募金運動……………7
- (9) 福祉バスの運行……………7
- (10) コミュニティソーシャルワーク(CSW)事業……………8
 - ① 個別支援
 - ② 地域支援（小地域福祉活動）
 - ③ かでな安心キット事業（緊急医療情報キット）
 - ④ 地域見守り協力活動
 - ⑤ 朝ごはん応援隊
 - ⑥ 各種会議等への参加
- (11) 地域生活支援事業（町受託事業）……………10
 - ① 理解促進研修・啓発事業

② 自発的活動支援事業	
③ 成年後見制度法人後見支援事業	
④ スポーツ・レクリエーション教室開催等（社会参加支援）	
⑤ 文化芸術活動振興（社会参加支援）	
⑥ 声の広報等発行事業	
(12) 生活支援体制整備事業（町受託事業）	11
① ワーキンググループの開催	
② ちょこっとお助けゆいまーる事業（有償の支え合い活動）への取り組み	
③ つどい・交流の場×移動販売	
④ 研究会しんぶんの発行	
⑤ ちょいまーる通信の発行	
(13) 食料支援事業	12
(14) 新型コロナの対策支援事業	12
① 生活困窮者等支援事業	
② 支援物資セットお届け事業	

2. 福祉活動推進事業

(1) 児童・青少年福祉事業	13
① 第27回比謝川鯉のぼりフェスタ	
② 制服リサイクル事業	
③ 小学生ヒップホップダンス・英会話無料レッスン事業	
④ クリアファイル配付事業	
⑤ お弁当配布事業	
(2) 老人福祉事業	14
① ふれあい訪問事業	
② ふれあい訪問ボランティア視察研修	
③ 嘉手納町社会福祉協議会いきいきサロン（社協サロン）	
④ ホクホク・にこにこ訪問事業	
(3) 母子・父子福祉事業	15
① 嘉手納町母子寡婦福祉会・NPO運営支援	
② ひとり親世帯等への食料品配布事業	

3. 社会福祉施設（福祉サービス事業者）支援協働機能

(1) 嘉手納町地域活動支援センターていんがーらの運営（受託事業）	15
-----------------------------------	----

4. ボランティアセンター（ボランティア活動支援）

(1) 福祉教育の推進	16
① 福祉教育協力校	
② 福祉教育推進助成事業	
③ 小学生ボランティアサマースクール	
④ いもっ子サマースクール（読谷村社協共催）	
(2) 学校・一般団体・企業への体験学習・研修への支援	16
(3) ボランティア支援事業	16

- ① 声のお便りサービス（地域生活支援事業参照）
- ② ボランティア広報誌
- ③ ボランティア養成講座
- ④ ボランティア保険への加入促進
- ⑤ 24時間テレビ募金活動
- ⑥ 一人暮らし高齢者宅清掃活動
- (4) ボランティア団体助成事業 17
- (5) ボランティア活動拠点整備 17

III. 福祉サービス利用支援部門

- 1. 地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業） 17
- 2. 生活福祉資金貸付事業 17

IV. 在宅福祉サービス部門

- 1. 高齢者等食の自立支援事業（配食サービス・町受託事業） 18
- 2. 地域介護予防活動支援事業（ミニデイサービス・町受託事業） 18
- 3. 介護用品貸与事業 18
- 4. 放課後等デイサービス事業所の運営（わくわくクラブあすなろ） 19
- 5. 児童発達支援事業所の運営（わくわくクラブあすなろ）

令和3年度 事業実績報告書

令和3年度は、前年度に続き新型コロナウイルス感染症拡大のため、本会においても事業の延期や中止が相次ぎ、実施した事業においては感染症対策を取りながらの取り組みとなりました。

法人運営部門では、理事会、評議員会において、改選が行われ新たな任期がスタートし、法人活動や法人運営の更なる活性化に繋がりたいと考えております。職員全体での研修や交流の場は多くは取れませんでした。個人面談や予防的面談を通してメンタルケアに取り組みました。社協の活動の財源となる社協会費については前年度と比べ若干の減収となりましたが、寄付金については前年度より増額となり、コロナ禍においても多くの町民、企業からの協力に感謝するところです。

総合福祉センターの運営管理においては、感染防止対策を取り、貸出しの利用人数等を制限する中で、コロナ前に比べて約半数の利用件数となっております。

地域福祉活動推進部門では、個人支援や地域支援が主な活動となるため、コロナによる影響は大きく、その中で「つながり」を切らさない事を念頭に活動を推進しました。小地域福祉活動では、活動が休止する中で、各区にて見守り通信や手紙を郵送するなど工夫を凝らし、見守りやつながりを絶やさない活動に本会CSWも継続的に関わりを持ち、サポートしてまいりました。新型コロナ支援対策として、収入が減少した世帯や感染者が出た世帯へ食料品等の配付を行い、生活維持のための支援を図りました。

福祉サービス利用支援部門では、コロナの影響により収入が減少した世帯への支援事業である生活福祉資金の特例貸付の申請受付を引き続き対応しました。

申請者は前年度に比べ減少傾向にありますが、貸付を終えた方からの問合せがあり、就業面でまだ落ち着いた状況にあると思われます。令和4年度からは、償還に向けての対応や貸付相談の対応職員を配置し対応してまいります。

在宅福祉サービス部門では、各区を拠点として実施する、ミニデイサービス事業が令和2年度より2年続けて休止状態にありましたが、各区では定期的な訪問や声掛け、担当職員による電話での安否確認を通して利用者の健康維持に繋がっています。しかし、長く続く自粛生活により、利用者のADL低下など身体的な衰えが出ているとの声もあり、健康維持の一役を担うミニデイサービスのコロナ禍での活動について検討が必要となっております。

令和3年度においては、さまざまな事業・活動が中止となり、十分な事業が取り組めなかった点もありましたが、4年度においては、自治会や民生委員など関係機関と連携し、情報共有をしながら、柔軟な対応に努めていきたいと考えております。

今後も、一層地域や関係機関と連携を強化し、必要なさまざまな取り組みを行っていききたいと考えております。

以下、令和3年度における事業を報告します。

I. 法人運営部門

1. 会務の運営並びに連絡調整

(1) 理事会【全4回】

回数 日時	出席	議案(報告)	会場
第1回 (書面による 議決)	理事9名 監事2名 より回答	○新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、書面による議決を行う。 ・嘉手納町社会福祉協議会就業規程の改正について ・令和3年度第1回評議員会の開催について ※全理事9名より、書面による同意の意思表示を得る。 ・決議があったものとみなされる日 令和3年5月14日	
第2回 R3 6/15 14:00	理事8 (欠1) 監事2	・令和2年度事業報告について ・令和2年度資金収支決算について 監査報告 ・第22期理事及び監事候補者について ・第21期評議員候補者について ・第三者委員の選任について ・令和3年度定時評議員会の開催日時、場所及び、議事に付すべき事項について (報告) ・社協会長の業務執行状況について	嘉手納町 総合福祉センター 3階研修室
第3回 R3 7/13 14:00	理事8 (欠2) 監事2	・任期間満了に伴う会長及び副会長の選任について ・令和3年度資金収支(第1次)補正予算(案)について ・令和3年度第3回評議員会の開催について ・(報告)社協会長の職務の執行状況について	嘉手納町 総合福祉センター 3階研修室
第4回 R3 3/18 17:00	理事9 (欠1) 監事2	・令和3年度資金収支(第2次)補正予算(案)について ・令和4年度事業計画(案)について ・令和4年度資金収支予算(案)について ・令和3年度第3回評議員会の開催について ・(報告)社協会長の職務の執行状況について	嘉手納町 総合福祉センター 3階研修室

(2) 評議員会【全3回】

日時 回数	出席者 (出席/総数)	議案(報告)	会場
第1回 (書面による 議決)	18/18	○新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、書面による議決を行う。 ・嘉手納町社会福祉協議会就業規程の改正について ※全評議員18名より、書面による同意の意思表示を得る。 ・決議があったものとみなされる日 令和3年5月24日	
定時評議員会 (書面による 議決)	18/18	○新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、書面による議決を行う ・令和2年度事業報告について ・令和2年度資金収支決算について 監査報告	-

日時 回数	出席者 (出席/総数)	議案(報告)	会場
		<ul style="list-style-type: none"> ・第 22 期理事及び監事の選任について ※全評議員 18 名より、書面による同意の意思表示を得る。 ・決議があったものとみなされる日 令和 3 年 6 月 29 日 	
第 3 回 R4 3/30	21/18 会長・副会長 監事 2	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 3 年度資金収支補正予算(第 2 次) (案) について ・令和 3 年度事業計画 (案) について ・令和 3 年度資金収支予算 (案) について ・規程の一部改正について 	嘉手納町 総合福祉センター 3 階研修室

(3) 評議員選任・解任委員会

日時 回数	出席者 (出席/総数)	議案(報告)	会場
第 1 回 6/25	3/3	・第 21 期評議員の選任について	嘉手納町 総合福祉センター 4 階中会議室

(4) 法人監事監査

日時	内容	会場
6/7 13:30	令和 2 年度決算監査	嘉手納町総合福祉センター4 階中会議室

(5) 町補助金交付団体監査

日時	内容	会場
7/5 13:30	令和 2 年度決算監査	嘉手納町総合福祉センター4 階中会議室

2. 役職員研修

役職員の資質向上を図る為、職員研修の実施、各種研修会への派遣、また中部地区社会福祉協議会連絡協議会の各部会等へ職員を派遣し、職員の資質向上を図った。

- (1) 各種研修会への派遣
- (2) 中部地区社会福祉協議会連絡協議会への協力、各種部会への参加
- (3) 中部地区老人クラブ担当者研究会への参加
- (4) 人材育成事業

期日	テーマ	講師
6/24~7/6	第 1 回個別面談	幸喜穂乃氏 (合同会社 Happy Joy)
11/14	第 1 回全体研修 SDGs を自分ごと化する	
12/2~12/8	第 2 回個別面談	
年 4 回	予防的面談 (必要に応じた職員へ実施)	
年 2 回	コンサルティング (事務局等、両係長へ実施)	

※予定していた全体研修（2回）がコロナの影響により中止となる。

3. 会員制度の強化と自主財源の確保

社協の自主財源確保のため、戸別会員・賛助会員・特別会員を募集し、町民の協力により次の実績を上げた。

(1) 社協会費実績

令和3年度実績 1,798,500円（前年比 △93,000円）

	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
戸別会員	1,461,500円 (2,923件)	1,527,500円 (3,055件)	1,451,000円 (2,902件)	1,496,500円 (2,993件)
賛助会員	52,000円 (47件・52口)	69,000円 (50件・69口)	94,000円 (65件・94口)	99,000円 (70件・99口)
特別会員	285,000円 (34件・57口)	295,000円 (37件・59口)	320,000円 (40件・64口)	365,000円 (43件・73口)
計	1,798,500円	1,891,500円	1,865,000円	1,960,500円

・戸別会費内訳

	東区	中央区	北区	南区	西区	西浜区	合計
世帯数(件)	731	384	326	317	420	745	2,923
前年比(件)	△22	△23	3	△70	△19	△1	△132
金額(円)	365,500	192,000	163,000	158,500	210,000	372,500	1,461,500
前年比(円)	△11,000	△11,500	1,500	△35,000	△9,500	△500	△66,000

(2) 寄付金実績

	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
件数	27	31	28	36
金額(円)	5,592,229	4,943,000	6,018,848	7,081,425

(3) 物品寄贈受付

- R3/7/29 沖縄ヤクルトより乳飲料寄贈
- 7/29 読谷・嘉手納ライオンズクラブよりエコバッグ寄贈（100枚）
琉球銀行嘉手納支店（食料寄付窓口設置）5回の食料寄贈
- 12/ ヘルプオキフリマ美里店国際フード様より食料品寄贈
- R4/1/9 ろうきんより食料の寄贈
- 3/1 駐留軍等労働者労務管理機構より乾パン寄贈（255缶）

(4) 新型コロナウイルスによる社協活動の休止

令和3年末に、職員1名が新型コロナウイルスの感染を受けて、事務所職員12名が濃厚接触者に認定されホテル療養となった。その間、社協活動が休止となった。感染した職員は、ミニデイサービス

担当であったため、12月13日、14日のミニデイ利用者及びボランティアが接触者（同じ空間にいた方）としてPCR検査を受検することとなった。

※接触者：中央区23名、南区：23名、訪問した高齢者：1名、包括職員：2名、社協職員12名
合計61名

PCR検査：令和3年12月19日（日） 場所：中央区コミュニティーセンター

受検者：中央区あしびな一会23名、南区かりゆし会23名、 合計46名

福祉センター休館：令和3年12月16日～12月28日

職員ホテル療養期間：令和3年12月19日～12月29日

4. 総合福祉センターの運営管理

町内福祉団体・町各種検診・事業を中心に、町民の福祉向上と健康増進を推進するため、効果的・効率的な運営を実施した。

・総合福祉センターの利用状況

	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用回数(回)	757	963	1,575	1,431
利用者数(名)	11,551	10,325	22,386	19,063

5. 相談援助実習生の受入れ

地域社会が求める社会福祉士の人材育成へと貢献すべく、公的責任も帯びている社会福祉協議会として県内学校の180時間以上の実習受入を行う。

実習生	琉球リハビリテーション学院	2名
(計3名)	沖縄統合医療学院	1名

II. 地域福祉活動推進部門

住民参加や協働による福祉活動の支援など、地域福祉推進の為の体制強化と事業の推進を図った。

1. 福祉でまちづくり機能

(1) 各種社会福祉関係諸団体支援事業

福祉団体への助成や活動への支援を行い、団体の基盤強化と自主運営を支援した。

(共同募金の配分金より一部助成)

福祉団体名	助成額	備考
嘉手納町老人クラブ連合会	280,000円	
嘉手納町障がい福祉協会	0円	団体の申出により助成なし
嘉手納町精神療養者家族会	200,000円	
嘉手納町民生委員児童委員協議会	200,000円	共募配分事業未執行により100,000円返金
NPO法人 嘉手納町母子寡婦福祉会	72,500円	
合計	752,500円	

(2) 福祉団体合同新年会「初春の集い」

※コロナウイルス感染症拡大防止による活動自粛のため実施なし。

(3) 福祉団体連絡会議

※コロナウイルス感染症拡大防止による活動自粛のため実施なし。

(4) 生きがいデイサービス交流会

※コロナウイルス感染症拡大防止による活動自粛のため実施なし。

(5) 心配ごと相談所の運営

第2・4金曜日の弁護士相談を継続し、町民の日常生活上の法律に関わる相談に対応し、適切な助言や援助を行い町民の福祉の向上を図った。

開設日：第2・4金曜日 午後1時～午後5時(完全予約制)

場 所：総合福祉センター3階会議室

相談員：弁護士4名

開設日：21日(コロナの影響により3回中止)

相談件数：47件

相談内容

相談内容	件数	相談内容	件数	相談内容	件数
生 計	2	職業・生業	0	住 宅	6
家 族	3	離 婚	4	医 療	0
人権・法律	5	財 産	26	年 金	0
苦 情	0	精神・衛生	0	心身障害者(児)・福祉	0
事 故	0	健康・衛生	0	その他	1
				合計	47

(6) 広報啓発活動

社協広報誌を年4回発行するとともに、町広報等への掲載を通して町民へ社協活動のPRを図った。またインターネットを活用し、新たな町民へのPR方法を構築した。

- ① 社協だよりの発行（7月・10月・1月・3月：年4回）
- ② 町広報紙の紙面活用
- ③ 嘉手納町社協 web サイトの運営【<https://www.kadena-shako.com/>】

	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
訪問者数	7,967	6,164	7,998	6,981
ページビュー	15,922	13,146	35,060	27,894

- ④ Facebook ページの運営【<https://www.facebook.com/kadena.shakyo/>】
- ⑤ LINE 公式アカウントの運営
- ⑥ しあわせ広がるフォトコンテスト事業

新型コロナウイルスの影響により、人との交流、地域との交流が減っているなか、写真を通じて嘉手納に元気を届けることを目的に、「えがお」「ふれあい」をテーマとしたフォトコンテストを実施。応募作品はホームページで公開し、受賞作品3点は「2022しあわせ広がるフォトカレンダー」へ掲載した。

- ・実施期間：8月23日（月）～10月8日（金）
- ・応募者：16名・24点

⑦2022しあわせ広がるフォトカレンダー事業

新型コロナウイルスの影響で地域の中でのつながりが希薄化しているなか、集まらなくてもつながれる機会を作ることや、本会の活動を掲載したカレンダーを作成することで“社会福祉協議会”の周知を図る。

- ・作成部数：700部

(7) 赤い羽根共同募金運動

社協の福祉事業の財源となる赤い羽根共同募金運動の募金活動を自治会、民生委員の協力のもと実施した。

募金目標額	募金実績額	達成率
3,575,000円	2,965,189円	82.9%

期 間：令和3年10月1日～令和4年3月31日

募金内容：戸別募金、職域募金、法人募金、個人大口募金、学校募金

募金内訳（3,057件・2,965,189円）

募金別	法人募金	職域募金	戸別募金	個人募金	学校募金	その他	合計
件数	45	41	2902	47	2	20	3,057件
金額	718,000	398,890	1,451,000	330,936	58,324	32,276	2,965,189円

(8) 歳末たすけあい募金運動

歳末において募金活動を実施し、困窮世帯への義援金の支給と一人暮らし高齢者への物品の支給を通して、歳末におけるたすけあい運動を地域の協力のもと実施した。

また、歳末たすけあい募金の財源を活用し、生活困窮者への支援のための食料品の購入および新型コロナウイルス感染症拡大防止による学校休校で、欠食となっている児童への食事を届けるための食材を購入した。

歳末たすけあい募金運動目標額および実績額

募金目標額	募金実績額	達成率	募金期間
1,000,000 円	839,211 円	83.9%	令和3年12月1日～12月31日

募金内訳 (2,962 件・839,211 円)

募金別	戸別募金	職域募金	合計
件数	2,928	34	2,962
金額	585,600	253,611	839,211

配分総額：1,127,828 円

事業名	金額(円)	備考
歳末たすけあい物品支給	122,296	60 件
一人暮らし高齢者への焼き芋配布	91,739	114 人
歳末ヘアカット支援	44,000	6 人
法外援護事業	10,000	1 世帯
新型コロナ陽性者自宅療養者物資支援	754,281	96 世帯
ゴースト子ども食堂支援	100,000	
高齢者世帯等環境美化整備活動 ※1	5,512	5 世帯
計	1,127,828	

○高齢者世帯等環境美化整備事業

高齢者世帯及び障がい者世帯を対象として、自宅敷地内の草刈り等を実施し、明るいお正月を迎える準備と環境美化につなげる事目的として実施。

対象世帯：5 世帯

草刈作業：かでな振興(株)様が無償で協力(令和3年12月13日～15日)

○高齢者宅の樹木伐採作業

ヤシの木(約13m)の倒木が心配だと家主(高齢者世帯)から相談があり、事業所の協力を得て、伐採した。

期日：令和3年10月26日

協力事業者：(株)東江電気工事：無償協力(高所作業車にて樹木を伐採)

(9) 福祉バスの運行

町内各種福祉団体等を中心に、福祉バスの運行を実施し活動支援を行った。

利用内訳 ※ () は前年度実績

利用団体	利用回数	人数
福祉団体	11 (20)	119 (190)
ボランティア団体	0 (0)	0 (0)
行政関係・行政委員会	12 (8)	379 (301)
議会関係	0 (0)	0 (0)
学校教育関係	15 (10)	305 (258)
町内各種団体	7 (3)	112 (43)
産業関係団体	1 (2)	15 (22)
その他公的団体	7 (1)	102 (15)
合計	53 (44)	1,032 (829)

(10) コミュニティソーシャルワーク(CSW)事業

嘉手納町地域福祉推進計画に位置付けられているコミュニティソーシャルワーク事業において、コミュニティソーシャルワーカーを担当圏域ごとに2名配置。個別支援の充実、小地域福祉活動事業の展開、生活支援体制整備事業および障害者地域生活支援事業との連携を目指して実施した。

① 個別支援

他事業や関係機関からの相談に加えて、小地域福祉活動での話し合いの場やなかゆくい広場・集合住宅での移動販売などの既存の場を通じた継続的な地域住民との関わりから、気がかりな方などへの個別支援を行った。

年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
相談件数	1,149件	1,282件	1,256件	1,178件	322件

※平成29年度については1名欠員

② 地域支援（小地域福祉活動）

今年度も南区地域見守り隊・北区見守り隊・東区見守り隊・西区ささえ愛たいへの継続的支援を実施。昨年度に続いて新型コロナウイルス感染症により、定例会等が中止・延期となる状況ではあったが、それぞれの区にて、役員を中心に活動の在り方について検討を重ねた。

さらに、西浜区・中央区においても自治会長および民生委員との定期的な話し合いの場を持った。

名称	支援開始月	内容
南区地域見守り隊	H25年12月	定例会等が行えない中でも、見守りたい通信の発行等を通じて隊員とのつながりを継続。10月には定例会を実施し、その後グループそれぞれでの訪問活動を行う。
北区見守り隊	H27年11月	自治会長・民生委員との話し合いを実施。定例会等これまで行ってきた活動や取組みを改めて検討する時期となっている。
東区見守り隊	H28年3月	緊急事態宣言等により活動が行えない期間においても、自治会長や役員を中心に見守りの方法について話し合いを重ね、2月には「手紙でつながろう作戦」を実施。手紙のポスティングと手紙の受け取りの2回に分けて見守りを行う。
西区ささえ愛たい	R1年7月	ささえ愛たいの活動を通して、気になる方としてあげられた方の見守りの方法について検討。法人内で行っているふれあい訪問事業へつながった方もいた。

◇小地域福祉活動フォーラム【未開催】

今年度、小地域福祉活動フォーラムは未開催となる。一方で、子育て世代を対象とした座談会の令和4年度開催に向け、地域福祉係内にて協議を重ねる。

③ かでな安心キット事業（緊急医療情報キット）

昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、訪問が行いづらいこともあり、設置や更新作業を行うことが難しい1年であった。

年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
申請	5	25	30	47	37
設置	10	17	48	25	37
中止	19	26	34	32	9
更新	14	5	82	116	92
設置件数	276	284	291	276	297

※設置件数については、未設置のまま中止となる方もいるため、必ずしも（今年度設置件数＝前年度設置件数＋今年度の設置者数－今年度中止者数）とはならない。

④ 地域見守り協力活動

締結先事業所からの「郵便物が溜まっている」という情報をもとに、安否確認を行う事例がある。今後も住民が安心して暮らせる地域づくりを目指して、より多くの事業者と地域見守り協力活動に関する協定の締結を行い、町内における見守り活動を推進していく。

【締結状況（13事業所と協定締結）】

○協力活動締結先事業所一覧○

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 日本郵便株式会社沖縄郵便局 | 2. 琉球新報屋良販売店 |
| 3. 琉球新報嘉手納南販売店 | 4. 琉球新報水釜販売店 |
| 5. 沖縄タイムス嘉手納屋良販売店 | 6. 沖縄タイムス水釜第一販売店 |
| 7. 沖縄タイムス水釜第二販売店 | 8. 嘉手納町上下水道課 |
| 9. 株式会社比謝川タクシー | 10. 比謝川ガス株式会社 |
| 11. 沖縄ヤクルト株式会社読谷センター | 12. 生活協同組合コープおきなわ |
| 13. 社会福祉法人 幸仁会 比謝川の里 | |

<令和3年度協定締結先>

なし

⑤ 朝ごはん応援隊

昨年度に引き続き、不登校や登校渋りの子ども達を対象とした自宅と学校以外の居場所に加えて、同世代や家族以外の大人と関わる機会になることを目的に、町教育委員会配置の子ども支援コーディネーターと協働し事業を行う。

嘉手納中学校の校長先生による校長講話やハロウィンの時期にアイシングクッキーを手作りして学校に販売に行くなど、学校の協力や理解も得ながら事業実施が出来たほか、地域にお住いの方の畑をお借りしての収穫体験などを通じて、職員以外の大人と関わる機会をつくる。

実施日時	毎週火曜日 ※変更あり
実施回数	35回
参加人数	11名（延べ134名）
実施に向けた会議 および月のふり返し	10回

⑥ 各種会議等への参加

- ・災害時等要援護者支援事業に関する福祉課 社会福祉係との打ち合わせ（6回）
- ・嘉手納町障害者自立支援協議会 相談支援部会（9回）
（地域移行・定着ワーキング（勉強会）計画相談員とのワーキング（勉強会） 各1回）
- ・要保護児童対策地域協議会（児童虐待・養護部会、不登校・非行部会 各1回）
- ・地域共生社会の実現を目指した重層的支援体制づくりに向けて（中社連役員研修）
- ・沖縄地域社会ビジョン大学院 2021 公開講座<オンライン>

- ・第7回生活困窮者自立支援全国研究交流大会
- ・ケース会議の実施（1回）及び参加（5回）
- ・相談員が知っておくとよい法律の基礎知識（法人内職員研修）
- ・コロナ禍における地域生活支援とコミュニティソーシャルワーク（法人内職員研修）
- ・障害者自立支援協議会への参加
- ・障害者計画策定委員会への参加

(11) 地域生活支援事業（町受託事業）

障がい者がその有する能力及び適正に応じて、自立した日常生活又は社会生活を送るために必要なサービスや情報を提供し、障がい者の自立と社会参加を支援した。

① 理解促進研修・啓発事業

○障害者週間に伴うイベント（障害者週間パネル展）

期日	内容	場所
11/29 ～12/16	障害者地域生活支援事業の紹介パネルを作成し展示を行った。	嘉手納町役場 1階エントランスホール

○ペアレントトレーニング講座（全8回）

回数	期日	内容	参加者	講師	会場
第1回	10/11	プログラム全体のオリエンテーション	2名	岡崎綾子氏	嘉手納町 総合福祉センター 3階和室
第2回	10/25	子どもの行動の観察と理解	4名		
第3回	11/8	子どもの行動への良い注目のしかたと3つの行動タイプ分け	3名		
第4回	11/22	前半ふりかえりと親子タイム	4名		
第5回	12/6	子どもが従いやすい指示の出し方	3名		ZOOM 開催 (コロナの感染状況により)
第6回	1/17	上手な注目のはずし(無視)の仕方(ほめるために注目を外す)	3名		
第7回	1/31	トークン表(めあて表)と限界設定	3名		
第8回	2/28	全体のふりかえり	4名		

○“聴覚障がい者から見える世界”と“使いたくなる手話”体験教室

	期日	内容	参加者	講師	会場
講義 1	10/28	聴覚障がい者の生活 (当事者による講話)	6名	岸本ひとみ 通訳派遣 2名	嘉手納高等学校 総合学科 2年次クラス
	10/29		14名		
講義 2	11/4	手話による日常会話を学ぶ	6名	岸本ひとみ 聴講師 1名	
	11/10		9名		
講義 3	11/11	交流会	6名	町内当事者 2名 手話サークル 2名	
	11/19		9名		

② 自発的活動支援事業

・ゆんたく会の開催（計1回）

回数	期日	内容	参加者
第1回	12/9	かわいい雑貨に触れながら、ゆっくり過ごそう	4名

※12/19、12/28 はコロナの影響により中止

③ 成年後見制度法人後見支援事業

・研修会（講師：竹藤登氏〔沖縄県社会福祉士会顧問〕）

期日	内容	参加者	場所
3/4	・法人後見人事業と市民後見人の関係性	町福祉課 3名 社協 6名	嘉手納町総合福祉センター 4階中会議室

④ スポーツ・レクリエーション教室開催等（社会参加支援）

※コロナウイルス感染症拡大防止による活動自粛のため実施できず。

⑤ 文化芸術活動振興（社会参加支援）

・アフリカの太鼓『ジャンベ』（計9回）

講師：gajako・masato（諸留華英・将人）

回数	期日	参加者	会場
第1回	10/9	前半 11名	嘉手納町総合福祉センター大集会室
第2回		後半 6名	
第3回	11/13	前半 7名	
第4回		後半 6名	
第5回	12/4	前半 11名	嘉手納町兼久体育館
第6回		後半 4名	
第7回	3/21	0名	嘉手納町総合福祉センター大集会室
第8回	3/26	前半 4名	
第9回		後半 3名	

※5/8、6/12、7/10、8/1、8/14、9/11、1/8、2/12 コロナの影響により中止

・ジャンベ動画配信（1回）

動画を作成し、YouTubeチャンネルにて動画を配信した。

⑥ 声の広報等発行事業

対象者：2名

録音回数：14回

発行本数：28本

内容：町広報誌、新聞記事、その他

朗読ボランティア：リーディングサービスあいあい5名

郵送の方法：嘉手納郵便局の協力による無料郵送

(12) 生活支援体制整備事業（町受託事業）

単身や夫婦世帯のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加する中、医療、介護サービス提供のみならず、町が中心となって、生活支援サービスを担う多様な事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図っていく。

① ワーキンググループの開催（1回）

期日	内容	会場
12/3	ちょこっとお助けゆいまーる事業について	嘉手納町総合福祉センター研修室

- ② ちょこっとお助けゆいまーる事業（有償の支え合い活動）への取り組み
- ・お助け会員登録数：35名（男性13名、女性22名）
 - ・問い合わせ件数：依頼37件【実施済(プレ)6件、訪問調整中9件、他の方法で解決13件、キャンセル2件、おねがい会員登録のみ7件】
- その他15件（仕組みについての問い合わせ等）

プレ実施

日時	内容	お助け会員
11/8(月) 14:00～14:30	家具の配置換え・配線作業	60代男性1名 70代男性1名
11/11(木) 10:00～11:00	窓の掃除	50代女性1名
11/18(木) 10:00～10:30	新聞紙の回収	60代男性1名
12/8(水) 10:00～12:00	ベランダの植木の手入れや片付け	60代男性1名 30代男性1名
12/16(木) 10:00～11:00	草むしり	80代男性1名 70代男性1名

③ つどい・交流の場×移動販売

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、つどい・交流の場への取り組みを進めることは難しかったが、嘉手納高校生による野菜の販売が実現でき、異世代交流の場をつくることができた。コロナ感染症拡大が長期化する中で、移動販売への必要性は高まってきているが、様々な制限があり、利用される方々の減少もみられる等課題があった。

移動販売場所	実施日
県営嘉手納高層住宅（北区）	毎週水曜 14:30～15:00
屋良町営住宅（東区）	毎週水曜 15:00～15:25
なかゆくい広場（中央区コミュニティセンター）	毎週水曜 15:30～16:00

- ④ 研究会しんぶんの発行（6月・11月・3月）
- ⑤ ちょいまーる通信の発行（6月・10月・3月）

(13) 食料支援事業

生活困窮者への支援として社協から食料支援を行う。また、そのための食料寄付も社協が受付し、フードバンクセカンドハーベスト沖縄からも食料寄付があった。また、琉球銀行から食料寄付の窓口として活動に協力したいと申し出があり、計5回の寄付をいただいた。

	令和3年度	令和2年度	令和元年度	備考
食料支援	56回	37回	39回	1回につき10日分、再支給は1か月後を目安とする
食料寄付受付	31回	10回	25回	社協にて随時受付、町内の食料支援を行う。

(14) 新型コロナの対策支援事業

① 生活困窮者等支援事業（嘉手納町補助事業：応援セット配付事業）

新型コロナにより失業や休業等により収入が減少し、日常生活に影響のある世帯へ食料品や生活用品等の配布を通して、生活の維持のための支援を行う。

対象者：⑦生活福祉資金の緊急小口貸付及び総合支援資金の貸付を受けている方。

⑧生活再建支援給付金事業を受給している方。

対象者：397名 配付実績：233名（内、生理用品希望者142名）

実施期間：令和3年7月1日～令和4年3月31日
 配付物品：レトルト食品、缶詰、麺類、お米（5kg）、お菓子、マスク、洗剤、消毒液、
 トイレトペーパー、生理用品、他
 予算：2,539,128円（嘉手納町補助金）

②支援物資セットお届け事業

新型コロナに感染し、自宅で療養する世帯を支援するために食料品等を提供し、在宅での生活を維持させ、感染拡大防止と早期の回復に繋げる事を目的に実施した。

対象者：新型コロナ感染症の陽性者で自宅で療養している方。

又は、同居家族等が新型コロナ感染症の陽性者で、濃厚接触者として自宅待機をしている方。

申込み：96件（内訳、陽性者：144名、家族数：382名）

実施期間：令和3年9月1日～令和4年3月31日（※令和4年6月末まで延長）

配布物品：カップ麺、麺類、レトルト食品、缶詰、お米（5kg）、お菓子、マスク、
 トイレトペーパー、消毒液、水、他

予算：歳末たすけあい募金活用

2. 福祉活動推進事業

(1) 児童・青少年福祉事業

① 第27回比謝川鯉のぼりフェスタ

※新型コロナ感拡大防止のため中止。

○こどもの日フォトコンテスト

鯉のぼりフェスタの代替事業として、フォトコンテストを実施し、子ども達の笑顔と元気を写真と通して発信し、児童福祉週間のPRとコロナの終息を願い開催した。

応募期間：令和3年5月10日～5月31日

応募総数：53件 ※大賞1点、優秀賞：3点、入賞6点

② 制服リサイクル事業

町内の小・中・高校の不要になった制服を寄贈していただき、必要としている方へ無償で提供を行うことにより、制服のリサイクルを図る。

年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
寄贈件数	38件	33件	20件	26件
提供件数	69件	67件	48件	51件

③ ヒップホップダンス・英会話無料レッスン事業

町内の保育園から高等学校等に在籍する児童生徒を対象とした教室を開催し、児童の心身の健全育成および異年齢の交流を図った。

実施期間：令和4年2月21日（月）～3月15日（火）※毎週月・火開催

実施回数：28回（7クラス×週1回×4回）

対象者：3歳～高校生

参加者：累計131名

事業協力：Kadena Performance Arts Studio (KPAS)

④ クリアファイル配布事業

新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり、子どもたちにも『望まない孤独』が広がっている。そのため気軽にいつでも助けを求め、相談できることができる機会があることを知ることが必要であると考へ、チャットや電話など24時間、365日、無料で相談できる手段があることをクリアファイルの配布をもって伝えることで、子どもたちの自殺や子どもたちへの虐待防止、そして自己肯定感が高まるきっかけをつくる。

〈クリアファイルへのイラストを町内在住の画家（教員免許、幼稚園教諭免許取得）へ依頼〉

配布先	配布数
嘉手納中学校	約 1,000 枚
嘉手納高等学校	

⑤お弁当配布事業

町内の小中学生でコロナ感染拡大防止のため休校となり、在宅で過ごすため食費等の負担が増えている、また休校のため保護者が仕事を休まざる負えない状況等により経済的な困窮が予想される世帯などの状況を鑑み無償のお弁当配布事業を行う。

- ・屋良校区、嘉手納校区にて2日間で実施
- ・町内の飲食店、子ども支援コーディネーター等の協力により実施
- ・沖縄県子ども未来協力店事業を活用（3万円）し、約140食を無償配布

（夏休みからはゴースト子ども食堂として町観光協会への協力事業として実施）

配布先	協力先	実施月
夏休みかでのゴースト子ども食堂	町内飲食店等	令和3年8月
かでのゴースト子ども食堂ふゆの回	町内飲食店等	令和3年12月～令和4年1月

(2) 老人福祉事業

在宅の高齢者や一人暮らし老人等が、要介護状態にならないための生きがい活動支援をすることにより、安否の確認や高齢者の自立と生活の質の向上を目的に実施した。

① ふれあい訪問事業

年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
ボランティア	35名・1団体	24名・1団体	19名・1団体
利用登録者	64名	49名	36名
実施回数	48回	36回	49回
年間訪問件数	2,073回	1,372回	1,201回

利用者状況

区別	東区	中央区	北区	南区	西区	西浜区	合計
新規利用	0	10	3	1	5	0	19
利用終了	0	2	2	1	2	0	7
登録者	11	21	16	8	5	3	64

（令和4年3月末現在）

② ふれあい訪問ボランティア視察研修

※コロナウイルス感染症拡大防止による活動自粛のため実施できず。

③ 嘉手納町社会福祉協議会いきいきサロン（社協サロン）

制度や事業の狭間にあり、閉じこもりがちな高齢者の方々を対象に、新たな社会参加の場を提供し、仲間づくりの場、孤立感の解消、地域の見守り、閉じこもりの防止、介護予防、健康づくりを目的して実施する。

実施日：毎月第1月曜日（3回実施）※新型コロナウイルスの影響により中止あり。

	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
延べ利用者数	17名	41名	51名	51名
登録利用者数	8名	8名	8名	6名
延べボランティア者数	17名	47名	58名	91名

④ ホクホク・にこにこ訪問事業

新型コロナの感染拡大で、外出の機会や人との交流が制限される中で、地域の高齢者を対象

に、訪問活動を行い、コロナ禍における日常生活状況の把握や見守り、声かけを行い、地域とのつながりを作り、また、きらさない事を目的に開催した。

※嘉手納町民生委員児童委員協議会共催

対象者： 109名

訪問（配布）：民生委員、自治会長、ボランティア

焼き芋：野國いも生産部会

(3) 母子・父子福祉事業

① 嘉手納町母子寡婦福祉会・NPO運営支援

NPO法人嘉手納町母子寡婦福祉会が継続安定した運営が行えるよう、必要に応じた支援等を行う。

②ひとり親世帯等への食料品配布事業

新型コロナにより、収入の減少などにより、日常生活の不安が予想される事から、ひとり親世帯等を対象として食料品を配布し支援した。

対象者：ひとり親世帯（児童扶養手当受給者等）

受取り：110件

その他の配布先：107件（困窮世帯及び特例貸付申込者、子ども食堂）

※食料品は事前に購入しているため、配付期間を過ぎた場合は、その他へ配付した。

合計：207件

配布期間：令和3年4月12日～令和3年4月30日（土日・祝日含む）

配付食料：お米（3kg）、即席スープ、みそ汁、味付けのり 他

協力：町子ども家庭課（対象世帯への文章の配付）

予算：かでな振興(株)様及び個人からの寄付金を活用

3. 社会福祉施設（福祉サービス事業者）支援協働機能

(1) 嘉手納町地域活動支援センターていんがーらの運営（受託事業）

障がい者の自立支援と社会参加を促進する目的で、町の受託事業として地域活動支援センターを運営した。

開設日：月曜日～金曜日 午前9時～午後4時

定 員：35名

利 用 者：継続33名、新規3名、退所4名、体験3名

場 所：総合福祉センター1階

開設日数：229日（前年230日）

延利用数：1,675名（前年1,788名）

職員数：支援員3名、相談員1名

① 基礎的事業

利用者が安心していただける居場所を提供し、生活リズムを整える。生産活動により就労への向上心、レクリエーション等自主的な活動及び地域住民や他団体との交流を図る。

また、利用者の買い物、食事、生活習慣等の日常生活に即した課題に対する個別的な支援や指導などをおこなう。

② 強化事業

No	事業の種類	事業内容	件数
1	個別支援計画	利用者の意向、適正、障害の特性その他の事情を踏まえた計画を作成し、これに基づき利用者に対してサービスを提供するとともに、その効果について継続的な評価を実施する。	23
2	相談支援事業	障害のある方やそのご家族などから様々な相談に応じ、必要な情報の提供、助言、福祉サービスの利用支援、関係機関との連絡調整などを行うことで、その人らしく生活が送れるよう支援する。	422
3	啓発活動	障害のある方に対する理解を深めるため、地域の祭りや行事等への参加を行う。 ・社協ふれあい訪問事業の袋詰め作業 14件	15

	・ 障害者週間パネル展示 1件 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止による活動自粛（祭り・イベント等）	
--	---	--

4. ボランティアセンター（ボランティア活動支援）

ボランティアセンターを中心としたボランティアの養成と育成、また活動推進を目的として下記の事業を実施した。

(1) 福祉教育の推進

① 福祉教育協力校助成事業

指定校	コース	助成金
屋良小学校	ベーシックコース	13,000 円
嘉手納小学校	チャレンジコース	50,000 円

② 福祉教育推進助成事業

指定校	助成金
ミッキー保育園	20,000 円
第三まきら保育園 KADENA	30,000 円
光の子幼児学園	30,000 円
光の子幼児学園 第2 嘉手納園	30,000 円
第二保育所	30,000 円
第三保育園	30,000 円

③ 小学生ボランティアサマースクール

※新型コロナウイルス蔓延防止のため中止。

④ いもっ子サマースクール（読谷村社協共催）

※新型コロナの感染拡大により期日変更するも応募なく中止。

(2) 学校・一般団体・企業への体験学習・研修への支援

期日	参加者	内容	会場
R4. 12. 15	屋良小学校 4 年生	福祉講話 「みんなを笑顔にする SDGs」	屋良小学校

(3) ボランティア支援事業

① 声のお便りサービス（地域生活支援事業参照）

② ボランティア広報誌

ボランティアや関係機関に対して町内の様々なボランティアに関する情報を提供することによりボランティア活動を支援し、ボランティア活動の広がりを図る事を目的とする。

発行回数：3 回

③ ボランティア養成講座

※新型コロナウイルス蔓延防止のため中止。

④ ボランティア保険への加入促進

ボランティアが安心して活動できるよう、ボランティア保険への加入促進と掛金を負担した。

年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
ボランティア活動保険	268名	218名	222名	214名
ボランティア行事用保険	7,725名	6,525名	6,796名	6,861名
送迎サービス補償	—	—	100名	612名
福祉サービス総合補償	108名	100名	96名	—

⑤ 24時間テレビ募金活動

※コロナウイルス蔓延防止のため中止。

⑥ 一人暮らし高齢者宅等清掃活動

※コロナウイルス蔓延防止のため中止。

(4) ボランティア団体助成事業

コロナウイルス感染症の影響により団体の活動が制限されたこともあり、団体と調整し助成金の支給は行っていない。

団体名	助成額
手話サークルかでな	0円
リーディングサービスあいあい	0円
手話サークルノビルの会	0円
計	0円

(5) ボランティア活動拠点整備

ボランティアセンター（利用回数2回・利用延人数12名）

ボランティア（個人・団体）登録及び斡旋

登録状況：ボランティア団体登録数 23団体（607名）

個人ボランティア登録数 2名

福祉教材等貸出：高齢者疑似体験セット 3回

III. 福祉サービス利用支援部門

1. 地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）

認知症高齢者や知的・精神障害者の方の福祉サービスの利用援助や金銭管理、印鑑・通帳などの書類の預かりを行う事業を実施。【実施主体は沖縄県社協】

◇生活支援員：2名（活動者数2名）

◇利用者：3名（新規契約1名）

2. 生活福祉資金貸付事業

低所得者や障がい者または高齢者に対し、資金の貸付と必要な援助指導を行い、経済的自立と生活意欲の助長促進など安定した生活が送れるようにする事を目的とする。令和2年度においては、令和2年3月より始まった特例貸付への対応を引き続きおこなった。

年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
相談件数	527	801	33	21
貸付件数	497	604	3	0
貸付金額(円)	225,780,000	232,646,000	1,314,000	0

貸付内訳：福祉資金3件、教育支援資金1件、特例貸付493件

○特例貸付件数内訳

貸付種類	件数	金額(円)
緊急小口資金	129	25,580,000
総合支援資金	142	78,150,000
総合支援資金(延長)	64	35,700,000
総合支援資金(再貸付)	158	86,350,000
計	493	225,780,000

IV. 在宅福祉サービス部門

1. 高齢者等食の自立支援事業(配食サービス・町受託事業)

日常生活に支障のある在宅高齢者に対し、給食サービスを通して食生活の改善と健康増進を図るとともに、安否確認など高齢者の自立と質の良い生活が送れるよう支援した

実施日：月曜日～土曜日 週6日(台風、元旦除く)

配達員：1日2名

調理：沖縄県高齢者協同組合 配彩ナビィー

料金：普通食 480円(内、個人負担250円)

特別食 500円(内、個人負担320円)

きざみ食 600円(内、個人負担370円)

配食状況：年間7,425食(月平均618食)

利用者状況(令和4年3月末現在)

区	東区	中央区	北区	南区	西区	西浜区	合計
登録者	20 (17)	18 (16)	12 (15)	11 (11)	7 (6)	17 (18)	85 (83)
利用者	11 (13)	11 (10)	7 (7)	8 (6)	1 (4)	11 (14)	49 (54)
休食者	4 (2)	6 (5)	4 (7)	2 (5)	5 (2)	4 (2)	25 (23)
入院者	5 (2)	1 (1)	1 (1)	1 (0)	1 (0)	2 (2)	11 (6)

2. 地域介護予防活動支援事業(ミニデイサービス・町受託事業)

各区を単位としてコミュニティセンターを拠点に在宅の高齢者や身体障害者などの要援護者に対し、健康で生きがいのある生活づくりができるよう、民生委員、自治会、ボランティア、関係機関の協力を得て実施。令和3年度においても、新型コロナウイルス感染症拡大防止により、コミュニティセンターでの活動がほぼ実施できなかった。

・助成金：0円(令和2年度繰越金で対応)

・各別実施日数及び利用者延べ人数等

推進地区	開催日	利用延べ人数	協力員延べ人数	開催数
東区がんじゅう会	毎月第2水曜日・第4金曜日	9	14	1
中央区あしびなー会	毎月第2月曜日・第4月曜日	12	9	1
北区百の会	毎月第2木曜日・第4木曜日	11	6	1
南区かりゆし会	毎月第2火曜日・第4火曜日	11	12	1
西区ゆんたの会	毎月第3水曜日・第4水曜日	12	6	1
西浜区ことぶきの会	毎月第1火曜日・第3火曜日	12	11	1
計		67	58	6

・連絡会の開催

令和3年5月

令和3年11月

3. 介護用品貸与事業

在宅療養者へ車イスの貸出しを行い、在宅介護支援と介護者の負担軽減を図った。

	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
貸与件数	40	31件	37件	29件

4. 放課後等デイサービス事業所の運営（わくわくクラブあすなろ）

学校通学中の障がい児に対して、放課後や夏休み等の長期休暇中において、生活能力向上のための訓練等を継続的に提供することにより、学校教育と相まって障がい児の自立を促進するとともに、放課後等の居場所づくりを目的に実施する。また、ことばの発達の遅れを持つ子どもを対象に言語訓練を実施する。

5. 児童発達支援事業所の運営（わくわくクラブあすなろ）

未就学児を対象とした事業であり、基礎的な生活習慣、小集団での過ごし、コミュニケーション能力の向上等を目指すために実施する。また、ことばの発達の遅れを持つ子どもを対象に言語訓練を実施する。

・わくわくクラブあすなろ実績内訳

事業名	職員	定員	登録児童 (前年度)	開所日数	利用実績 (前年度)
放課後等デイサービス事業	7名 (兼務)	8名	23名 (24名)	241日	延べ1483名 (1782名)
児童発達支援事業		2名	3名 (5名)		延べ79名 (126名)

※ 登録内訳 令和3年度 登録人数26名（嘉手納町17名・読谷村9名）